

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	ごみ啓発	シート番号				A 一般事務事業
担当部署名	環境	局	環境事業	部	資源循環推進	課 評価責任者(課長名)
						10-28
						船本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例			
	4	関連計画	第3次堺市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画			
5	事業実施の経緯	資源やエネルギーの大量消費によって、天然資源の枯渇や社会的な環境問題に直面しており、大量消費型のライフスタイルから環境に配慮した資源循環型のシステムに転換を図ることが課題となっているため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び市内事業者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	ごみの減量化・リサイクルの実践的な行動指針となる「ごみの4R運動」を広めて市民意識の高揚を図ることで、ごみの減量や資源エネルギーを節約する循環型社会を推進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	マスコットキャラクター等を有効に活用し、低年齢児を含めた全ての方を対象とした出前講座を行うほか、各イベントにおいて、パネル展示やごみクイズの実施、並びにごみ啓発チラシの配布などによりごみの減量化・リサイクルの意識高揚を図る。その他、ごみ減量ポスター展及び施設見学会を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( )			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

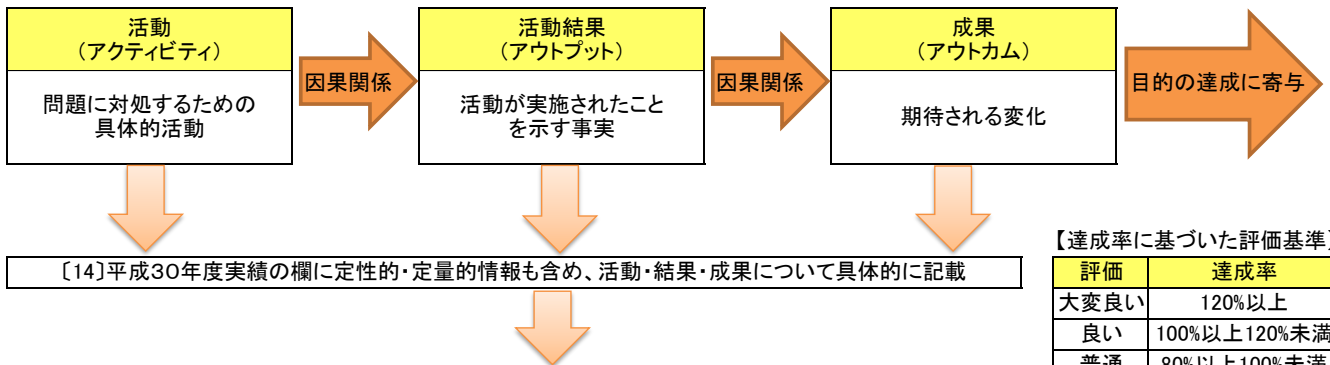
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	5,418	4,631	4,889	4,960	
	主な事業費内訳	ごみ減量ポスター展参加賞	千円	319	251	498	357
		ごみ減量に関する総合パンフレット等	千円	1,292	1,071	1,273	1,071
		ごみ減量研修・施設見学用大型バス借上げ	千円	673	624	680	720
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(環境都市推進基金繰入金等)	千円	4,882			4,960
		一般財源	千円	536	4,631	4,889	0
	12	人件費 (b)	千円	48,380	48,380	48,380	47,790
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	53,798	53,011	53,269	52,750	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	ごみ啓発	シート番号	10-28
-------	------	-------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>平成30年度においては、学校園や各種団体等に対して、年間を通じて出前講座を実施した。また、各区における区民まつり等の各イベントにおいて、パネル展示やごみクイズの実施、並びにごみ啓発チラシの配布を実施した。その他、ごみ減量ポスター展及び施設見学会を行った。出前講座の実績としては、実施回数が98回であり、目標値の90回を上回る成果を得た。一方、出前講座の受講者数は8,038人であり、目標値の9,000人を下回った。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		出前講座の実施回数	回	目標値	85	85	90	90
				実績値	87	97	98	
				達成率	102%	114%	109%	
	算出方法・設定根拠など		前年度実績に基づき設定					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		出前講座の受講者数	人	目標値	9,300	9,300	9,000	9,000
				実績値	7,162	8,526	8,038	
				達成率	77%	92%	89%	
	算出方法・設定根拠など		前年度実績に基づき設定					

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>各種団体に案内文書を送付する等で出前講座の回数が増加したため、おおむね目標を達成した。受講者数は目標に達しなかったが、1回当たりの受講者数は学校園の規模等に起因するため、対策が困難である。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。